



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 住石ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 1514 URL <http://www.sumiseki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長崎 駒樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 滝田 出

TEL 03-5733-9901

四半期報告書提出予定日 2020年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,373	24.1	24	76.4	930	95.2	749	11.8
2019年3月期第3四半期	14,991	28.6	104	29.6	476	76.0	849	52.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 712百万円 (103.5%) 2019年3月期第3四半期 350百万円 (81.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	14.07	11.89
2019年3月期第3四半期	15.53	13.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,245	14,883	90.8
2019年3月期	16,841	14,497	85.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,755百万円 2019年3月期 14,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				3.00	3.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	6.4	90	45.4	1,100	48.3	1,000	61.5	18.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	58,892,853 株	2019年3月期	58,892,853 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,033,859 株	2019年3月期	4,533,818 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	53,255,142 株	2019年3月期3Q	54,703,007 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	2.00	2.00
2020年3月期	—	—	—		
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、中国向けを中心とした輸出の減少を背景に生産活動が停滞する等、力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような事業環境のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、主力である石炭事業部門の販売体制強化を実施する等、既存顧客へのサービス向上と新規顧客の獲得に鋭意取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、主力事業部門の石炭取引について、石炭輸入先からの情報収集や販売先との関係強化に注力するとともに、新規販売先へのトライアル等を実施しておりますが、石炭市況の下落が継続する中で、販売タイミングの不調等により、売上高は11,373百万円（前年同期比24.1%減）と前年同期を下回りました。一方経常利益は、豪州ワンボ社からの受取配当金の増加等により930百万円（前年同期比95.2%増）と前年同期を上回りましたが、じん肺患者に対する和解金47百万円（注1）を特別損失に計上した他、前年度に計上した投資有価証券売却益の影響等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は749百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

（注1）北海道地区において住友石炭鉱業株式会社（現当社子会社住石マテリアルズ株式会社、以下「住石マテリアルズ」といいます）が経営した炭鉱等の元従業員等であったじん肺患者9名が2019年4月、住石マテリアルズに対し訴訟外でじん肺罹患による損害賠償を求めてきました。

住石マテリアルズは事実関係について調査を進め、元従業員等の代理人と協議を行ってまいりましたが、2020年1月、和解により解決することで合意に至り、じん肺罹患患者9名に対し総額47百万円の和解金を支払うこととしました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①石炭事業部門

当第3四半期連結累計期間は、販売数量の減少及び石炭価格の低下により、売上高は10,594百万円（前年同期比25.5%減）と減少しましたが、利益率の高い取引が増加したことにより、セグメント利益は354百万円（前年同期比5.8%減）と若干の減益になりました。

②新素材事業部門

当第3四半期連結累計期間は、自動車関連市場の顧客の生産調整が続き、また前第3四半期連結累計期間に発生したサファイア研磨市場等へのスポット販売の剥落等により、売上高は205百万円（前年同期比14.0%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

③採石事業部門

当第3四半期連結累計期間は、西日本側で新規顧客獲得や売価是正が業績向上に寄与し、東日本方面ではプロジェクト工事（原子力関係）がピークを迎えたこと等により、売上高は573百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は84百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

（注）金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等が増加したものの、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びにその他の流動資産等が減少したことから、前連結会計年度末に比べて596百万円減少し、16,245百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、その他の流動負債等が増加したものの、支払手形及び買掛金並びに短期借入金等が減少したことから、前連結会計年度末に比べて982百万円減少して1,361百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、自己株式の取得に伴う減少や、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、利益剰余金等が増加したことから、前連結会計年度末に比べて385百万円増加し、14,883百万円となり、自己資本比率は90.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2019年10月31日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124	2,551
受取手形及び売掛金	1,978	1,629
商品及び製品	2,507	2,406
仕掛品	93	97
原材料及び貯蔵品	17	14
前渡金	16	-
その他	760	360
流動資産合計	7,498	7,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	662	619
機械装置及び運搬具(純額)	147	136
土地	5,756	5,756
リース資産(純額)	176	175
その他(純額)	5	5
有形固定資産合計	6,749	6,693
無形固定資産		
その他	21	4
無形固定資産合計	21	4
投資その他の資産		
投資有価証券	2,434	2,343
繰延税金資産	14	14
その他	537	130
貸倒引当金	△413	△1
投資その他の資産合計	2,572	2,487
固定資産合計	9,343	9,185
資産合計	16,841	16,245

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	837	130
短期借入金	469	140
未払法人税等	15	6
引当金	56	36
その他	158	256
流動負債合計	1,536	571
固定負債		
繰延税金負債	94	75
再評価に係る繰延税金負債	285	285
退職給付に係る負債	151	141
長期預り金	91	94
資産除去債務	24	25
その他	160	168
固定負債合計	807	790
負債合計	2,344	1,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,501	2,501
資本剰余金	966	966
利益剰余金	11,538	12,111
自己株式	△576	△751
株主資本合計	14,430	14,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	224
土地再評価差額金	△296	△296
その他の包括利益累計額合計	△34	△71
新株予約権	101	127
純資産合計	14,497	14,883
負債純資産合計	16,841	16,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,991	11,373
売上原価	13,870	10,285
売上総利益	1,120	1,088
販売費及び一般管理費	1,015	1,063
営業利益	104	24
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	444	954
固定資産賃貸料	39	39
その他	7	9
営業外収益合計	493	1,003
営業外費用		
支払利息	31	0
持分法による投資損失	34	33
業務委託料	7	31
その他	48	32
営業外費用合計	122	98
経常利益	476	930
特別利益		
固定資産売却益	6	-
投資有価証券売却益	835	-
その他	0	-
特別利益合計	842	-
特別損失		
固定資産除売却損	8	10
和解金	-	47
訴訟関連損失	300	-
環境対策費	84	-
その他	5	2
特別損失合計	399	60
税金等調整前四半期純利益	919	869
法人税、住民税及び事業税	70	119
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	69	119
四半期純利益	849	749
親会社株主に帰属する四半期純利益	849	749

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	849	749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△499	△37
その他の包括利益合計	△499	△37
四半期包括利益	350	712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350	712
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得や単元未満株式の買取りにより自己株式は、当第3四半期連結累計期間に、175百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において751百万円となりました。